

ODYSSEY OF WIND

「風の又三郎」再演にむけて

「風の又三郎」は自然そのものを描いている。私たちにとって最も身近な自然は我々の身体だが、それが失われて久しくなりました。しかし生命体である限りこの身体から逃れられないのが現実だから、自然と身体との乖離はきわめて難しい状況を作り出している。今後、私たちはその一体感を保持しなければ生きてはいけまい。この全体像を舞台を使って描いているのが本作品だ。未来に向かってのひとつの矢印としてみなさんの心に残ることを願う。 小池博史



風とともに旅をしよう。東北と世界をむすんで

<http://kikh.com/kaze2016>

KIKH
KIKH
Bridge
Project



風の又三郎 2016

宮沢賢治生誕120年記念 4館共同制作
小池博史ブリッジプロジェクト

長野市芸術館 アクトスペース

2016年 10月22日(土) 17:00開演 23日(日) 14:00開演

宮沢賢治生誕120年記念 4館共同制作 小池博史ブリッジプロジェクト

風の又三郎 2016 -ODYSSEY OF WIND-

2014年に吉祥寺シアターで上演された話題作が、オーディションで選ばれた新キャストを加え2016年よみがえる！
舞台美術は2009年羽田空港「空気の港」や瀬戸内国際芸術祭2010などで注目をあつめるアーティスト、鈴木康広が担当。
能楽師、ダンサー、バリ舞踊家、アクロバットパフォーマーなど多彩な男性5名らと世界的な尺八奏者、中村明一・ラッパ、
下町兄弟の演奏、元イッセイミヤケコレクションデザイナー、浜井弘治による衣装などが「風の吹く空間」を創り上げる。

本年5月、アクトスペースのオープニングを飾った「宮沢賢治」をめぐる創作プログラム『KENJI in NAGANO』で、
公募キャスト・スタッフらとともに、たった2週間で小劇場の醍醐味あふれる驚きの舞台を創り上げた小池博史が、
自身の主宰する「小池博史ブリッジプロジェクト」を率いて、いよいよこの10月、再びアクトスペースへ！

公演日程

2016年10月22日(土) 17:00開演
23日(日) 14:00開演

開場は開演の30分前 上演予定時間:約75分(休憩なし)

料金 全席自由

一般 3,500円 / 高校生以下 1,500円
未就学児の入場はご遠慮ください

チケット発売日

〈NCACチケットオンライン先行発売〉
2016年7月28日(木) 10:00-
〈一般発売〉
2016年7月30日(土) 10:00-

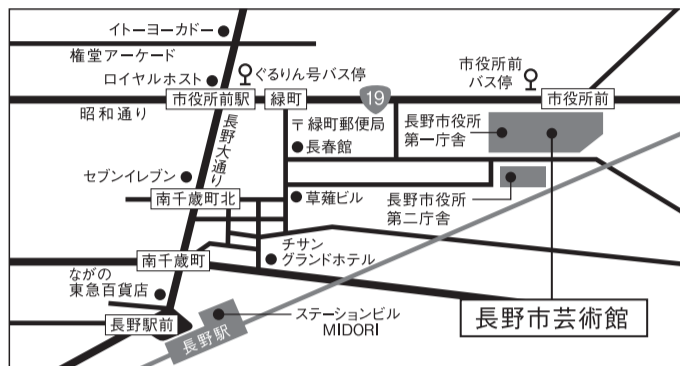
チケット取り扱い

NCACチケットオンライン [インターネット販売]
<http://www.nagano-arts.or.jp>

NCACチケットセンター [窓口・電話]
026-219-3191 (10:00~19:00/火曜定休)
ながの東急プレイガイド [窓口販売]

会場 長野市芸術館 アクトスペース(3F)

〒380-8512 長野県長野市大字鶴賀緑町1613番地



- 電車 ○ 長野電鉄「市役所前」駅下車。2番出口より昭和通りを東へ徒歩約3分
- 徒歩 ○ JR長野駅善光寺口より長野大通りを北へ。
「市役所前駅交差点」を右折して昭和通りを東へ。約12分
- バス ○ 長野駅前バス停(C-16)より、ぐるりん号で「市役所入口」下車。
通りを渡って徒歩約3分
- 長野駅⑤番乗り場より、45番市役所経由北屋島行き、または
46番大豆島東団地行きに乗り「市役所前」下車。通りを渡って目の前
- 車 ○ 上信越自動車道・長野ICより約20分 ○ 須坂長野東ICより約25分

公演のお問い合わせ

一般財団法人長野市文化芸術振興財団
026-219-3100 [火曜定休] info@nagano-arts.or.jp

出演・振付:清水寛二(能楽師・鏡仙会)、
松島 誠、小谷野哲郎、谷口 界、
立本夏山 [オーディション合格者]、松縄春香
演奏:中村明一(尺八)、下町兄弟(ジャンベ・パーカッション)
原作:宮沢賢治(「風野又三郎」「風の又三郎」より)
演出・脚本・振付・構成:小池博史
舞台美術:鈴木康広 作曲:菅谷昌弘、中村明一
衣装:浜井弘治 映像:飯名尚人

照明:上川真由美 小道具:五十嵐彩乃
音響:印南昭太郎 音楽プラン:小池博史
衣装アシスタント:保高三千代 演出助手:松縄春香、加藤典子
舞台監督:中原和樹 宣伝写真:小池博史 宣伝美術:阿部航太
制作協力:株式会社サイ

主催:一般財団法人 長野市文化芸術振興財団
助成:一般財団法人地域創造
協力:福永紙工株式会社 株式会社うらはまデザイン事務所
オフィス・サウンド・ボット SIBAURA RECORDS Office KOIKE

小池博史

演出家・作家・振付家・舞台美術家・写真家、「舞台芸術の学校」代表。1982年に「パ・タラマラ」を設立。以降、全55作品の作・演出・振付を手掛け、国際的に高い評価を確立。2012年に「パ・タラマラ」を解散、「小池博史ブリッジプロジェクト」を発足。97~04年つくば舞台芸術監督、アジア舞台芸術家フォーラム委員長、国際交流基金特定寄附金審議委員(05年~11年)等さまざまな審議員、審査員等を歴任。



4館共同制作と創作プログラム[KENJI]について

この公演は、長野市芸術館、パルテノン多摩、茅野市民館、日立システムズホール仙台4館の連携事業です。仙台市にて本公演に先立ち「嘉助」役のオーディションとクリエーションを実施し、長野・多摩・茅野・仙台でツアー公演を行います。また共同制作の一環として、各地域の市民とともに「創作プログラム」を実施しました。これは、小池博史による同じ台本「KENJI」をもとに、各地の市民が舞台作品に取り組みプログラムです。地域それぞれ、参加市民一人一人の個性と表現力、創造性を引き出しました。プロセスを最重視した取り組みは地域に熱を生み、文化を育みました。

「風の又三郎 2016 -ODYSSEY OF WIND-

- 【東京都/多摩市】パルテノン多摩
10月29日(土) 14:00開演
- 【長野県/茅野市】茅野市民館 マルチホール
11月2日(水) 19:00開演
- 【宮城県/仙台市】日立システムズホール仙台 シアターホール
11月6日(日) 14:00開演

○ 創作プログラム[KENJI]

- 【長野市】 4月29日~5月12日
- 【多摩市】 6月11日~18日(14・15除く)
- 【仙台市】 7月2日~7月12日

○ 子ども創作ワークショップ+鑑賞プログラム

- 【茅野市】 10月(予定)



原作「風の又三郎」と「風野又三郎」について

「かぜのまたさぶろう」には二つのバージョンがある。
一般的に知られているのは、又三郎という名の転校生と村の子供達の交流を描いた「風の又三郎」。
もう一つは風の精としての又三郎が、風が大地や海を駆け抜け、地球全体を循環する物語を軸とした「風野又三郎」。
本作は小池博史により、その二つの物語をあわせたオリジナル作として再構築した。

公式サイト <http://kikh.com/kaze2016>

小池博史 風の又三郎 検索

facebookページ <https://www.facebook.com/kikhproject>
公式twitter @kikhproject
小池博史ブリッジプロジェクト公式メールマガジン
http://kikh.com/magazine_arc.html